ベンチに捧げた全力投球

第106回 全国高校野球選手権 東・西 東京大会
主催／朝日新聞社・都高野連

東・西東京大会は10日、2回戦計25試合があった。東大会では、昨夏準優勝の東亜学園が順当に勝ち上がり、西大会では井草・大泉・松蔭・杉並工科の連合が最終回に逆転勝ちした。11日は東西で2回戦24試合が予定されている。

夏輝く

田柄・青木琉人主将、平子聖奈マネジャー

9年ぶりの単独出場。田柄にとって悲願の試合だった。先発の青木琉人（2年）は一回に4点を失っても、すぐ気持ちを切り替えた。3年生のマネジャー・平子聖奈に勝利を届けたい――。二回には直球に変化球を絡め、2者連続三振した。

2年前、部員は当時1年の平子と2年の選手の2人だけ。グラウンドは腰の高さまで雑草が伸び、地面はでこぼこ。ネットなどの器具も金属が腐食していた。

平子らは一人でも多くの新入生に入ってもらおうとグラウンドの草を刈り、半年ほどかけて整備。平子の姿に打たれ、学校は投球マシンを買ってくれた。

他校と連合を組んで出た昨夏の大会後、大久保壮拳監督は、主将になった青木らに聞いた。「お前らの目標って、なんなの」。選手たちは「聖奈先輩の最後の夏に、単独チームで出て勝つこと」と答えた。平子の思いはしっかりと後輩に届いていた。

それから青木たちは、新たな仲間や助っ人を求め、校内中をかけずり回った。そして夏の大会前、11人がそろった。

とはいえ、わずかでも選手が欠ければ出場はかなわなくなる。平子は練習中も選手と一緒に走り、誰よりも声を張り上げ選手を鼓舞した。

願いがかなった夏の大会の初戦。青木は試合に勝って平子を喜ばせたかった。打たれても打たれても、最後までマウンドに立った。試合後、平子は青木に声をかけた。

「ありがとうね」。平子が見てきた中で一番の全力投球だった。

青木は思う。チームが大好きな平子のことだから、来年もスタンドから見ていてくれるだろう。来年こそは――。

＝S&D昭島（西田有里）

マウンドに立つ田柄の青木琉人＝いずれもS&D昭島

記録員としてベンチ入りした田柄の平子聖奈

本気の楽しさ 知った再戦

品川翔英 岡田八大選手

昨夏と同じカードになった一戦は品川翔英が攻玉社に敗れ、逆の結果になった。品川翔英にとって攻玉社は格上。「あの夏と同じ喜びをもう一度」と、挑戦者の気持ちで臨んだ。

だが、今年の攻玉社は強かった。先発マウンドに立ったのは昨夏と同じ森田翔大（3年）。「今年こそ絶対に勝つつもりで、新しい球種を覚えた」

昨年も対戦していた品川翔英の岡田八大（3年）は「相手も本気で来ているんだ」と感じた。球速も球種も昨年と全く違う。点を奪えなかった。

入学時、同好会から昇格したばかりの野球部に入った。「楽しい野球がやれればそれで良い」と思っていた。だが、昨夏の攻玉社との試合が転機になった。格上相手に劇的な逆転で公式戦初勝利を飾ったことで、練習が厳しくなった。

苦しくなり、一時は部をやめることも考えた。だが、もう一人の3年生、国見琉正と励まし合い、最後までやりきることを決めた。

品川翔英の岡田八大（左）＝大田

昨夏の覇者相手

10日の試合、ひとつひ

私武蔵 尾花優斗投手

私武蔵の先発、尾花優斗（3年）は腹をくくってマウンドにあがっていた。相手は昨夏の覇者で強打の日大三。「絶対に怖がらない。守備を信じて、打たせるイメージで」

相手が日大三に決まって以降、チームで対策を練った。出した答えは、「外野フライでアウトを重ねる」。今春からは打球が飛びにくい「低反発バット」が導入された。伸びのある尾花の直球で押し込めば、外野フライを重ねられると考えた。

迎えた決戦の日。序盤、対策は想像していた以上にはまった。尾花が練習通り、次々と高めに直球を投げ込むと、日大三の選手は強振。心地よい金属音が響くものの、打球は外野の頭を超えなかった。五回までに12個ものフライアウトを奪った。

ただ、日大三の対応力も想像以上だった。打順が3巡目に入った六回以降、「高めに対応され始

カラー充実 紙面ビューアー 登録無料

全試合ライブ配信 バーチャル高校野球 検索

きのうの勝敗

＝いずれも2回戦

東東京大会

◇神宮

九段 030 000 011 5
海城 010 000 002 3

昭和鉄道 000 000 0 0
東亜学園 112 400 × 8
（7回コールド）

東洋 100 000 101 3
多摩大目黒 022 100 00× 5

◇都営駒沢

三田 000 000 00 0
目白研心 100 022 02 7
（8回コールド）

東 120 510 000 9
八丈 030 225 11× 14

◇JPアセット江戸川

淵江 000 100 0 1
東京実 071 000 × 8
（7回コールド）

駒込学園 002 202 020 8
王子総合 200 000 120 5

◇大田

朋優学院 201 000 000 3
日工大駒場 000 110 000 2

品川翔英 000 000 0 0
攻玉社 201 205 10
（6回コールド）

西東京大会

◇スリーボンド八王子

東大和南 205 011 2 11
調布北 000 000 0 0
（7回コールド）

八王子実践 100 000 000 1
駒大 010 010 01× 3

八王子桑志・南多摩 000 000 0
006 211 10
八王子北
（6回コールド）

◇府中市民

練馬 201 020 010 6
小川 003 100 000 4

東京都市大付 100 000 0 1
日大二 301 240 × 10
（7回コールド）

中大付 040 020 100 7
田無 004 000 020 6

◇S&D昭島

成城学園 011 040 048 18
瑞穂農芸 100 000 260 9

田柄 000 00 0
筑波大駒場 405 11× 20
（5回コールド）

◇多摩市一本杉

福生 100 000 100 2
府中東 004 000 01× 5

成瀬 000 10 1
日野 521 3× 11
（5回コールド）

◇コトブキヤ

久留米西 000 100 000 1
総合工科 000 003 30× 6

日野台 002 000 020 4
小平 000 000 001 1

◇スリーボンド上柚木

私武蔵 000 000 000 0
日大三 000 002 40× 6

井草・大泉・松蔭・杉並工科 013 051 405 19
110 227 200 15
I C U

◇小野路GION

狛江 003 204 0 9
国立 000 000 0 0
（7回コールド）

東京高専 101 00 2
桜美林 1006 1× 17
（5回コールド）

きょうの試合

左が一塁側

＝いずれも2回戦

東東京大会

◇神宮

竹台－実践学園（9時）
雪谷－二松学舎大付（11時30分）
昭和第一－立教池袋（14時）

◇都営駒沢

鷺宮－青井・足立東・葛飾総合・南葛飾（10時）
豊南－本郷（12時30分）

◇JPアセット江戸川

文教大付－富士（9時）

【田柄】

		打	安	点
中	小山	2	0	0
遊	三城	2	0	0
捕	鬼塚	2	0	0
三	山田	2	0	0
投	青木	2	1	0
一	盧	2	0	0
左	サルワル	2	0	0
二	天野	2	0	0
右	辻井	1	0	0
振球犠併残		…	…	…
11 0 0 0 2 17 1 0				

【筑波大駒場】

		打	安	点
投右	中根	3	1	2
三	中田	4	3	0
走	蛭田	0	0	0
二	山下	3	2	0
一	竹下	3	2	1
二	大江	3	3	3
三	堀内	3	2	0
遊	米沢	3	0	2
左	投東尾	4	1	2
右	大沢	4	2	1
中	森田	3	1	1
捕	森	3	1	…
振球犠併残		…	…	…
4 4 1 0 3 30 14 13				

投手	回	安	数
青木	4	14	30
中根	4	1	5
東尾	1	0	1

投手	回	安	数
尾花	6⅔	7	9
宮元	1⅓	2	3
山口	4⅓	1	6
谷亀	4⅔	1	5

（田柄）捕 堀内（青木）竹下（青木）三 大江 三 田中 竹下
（筑波大駒場）盗 筑9 暴 青木2 逸 鬼塚 死 田6
筑1▽審判（球）三谷（塁）佐々木 水原 間島
1時間21分

【私武蔵】

		打	安	点
中	佳山	4	0	0
左	西山	3	0	0
打	前川	1	0	0
一	三李	4	0	0
右	投宮元	2	0	0
投	一尾花	3	2	0
遊	小野塚	2	0	0
遊	浜野	1	0	0
三	福山	2	0	0
右	江種	0	0	0
捕	荻原	…	…	…
二	久保寺	0	0	0
振球犠併残		…	…	…
12 2 0 0 3 28 2 0				

【日大三】

		打	安	点
右	大聞	3	2	2
中	本水	4	1	1
中	清井	4	1	1
左	士田	2	0	0
左	織流	0	0	1
一	内本	2	0	0
捕	田谷	0	0	0
三	岡谷	4	0	0
三	染沿	0	0	0
遊	西田	4	1	0
投	鍛島	1	0	0
投	飯岡	1	0	0
投	中口	3	0	0
投	松亀	1	2	0
振球犠併残		…	…	…
2 5 4 1 8 29 9 6				

投手	回	安	数
尾花	6⅔	7	95
宮元	1⅓	2	33
山口	4⅓	1	62
谷亀	4⅔	1	58

（日大三）三 本間 土井 三 岡本 松岡 盗 日4 死 私1▽審判（球）三鴨（塁）武藤 加藤 市川
2時間6分